

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第2回 所沢市地域公共交通会議
開 催 日 時	平成30年2月14日(水) 午前10時00分から12時00分まで
開 催 場 所	市庁舎 7階 研修室
出 席 者 の 氏 名	井出 裕美 金子 明実 菅野 景子 鈴木 由紀子 一木 昭憲 鶴岡 洋 加藤 和伸 藤田 貢 尾崎 晴男 飯塚 孝廣 鈴木 康人 糟谷 守 二上 清次 畦地 英樹
欠 席 者 の 氏 名	佐久間 修 山内 智矢 小河 憲司 脇田 眞輔 嶋村 照明
条例第7条に基づ く出席者の氏名	竹島 達也 埜澤 好美
議 題	1 開会 2 議事 (1) ところバス路線等の見直しについて (2) その他

<p>会 議 資 料</p>	<p>1 「平成 30 年度市内循環バス『ところバス』路線等の見直し(案)」 に対するご意見と市の考え方について</p> <p>2 「運転免許証自主返納者への公共交通のニーズ等調査」集計表</p> <p>3-1 埼玉県内における小型車両を活用した交通手段の事例</p> <p>3-2 定時定路線型乗合タクシー他自治体事例紹介資料</p> <p>3-3 乗合型デマンド交通他自治体事例紹介資料</p> <p>3-4 既存タクシー活用型デマンド交通他自治体事例紹介資料</p> <p>4 所沢駅ホームドア設置に関する資料</p>
<p>担 当 部 課 名</p>	<p>経営企画部：平田部長、粕谷次長</p> <p>企画総務課：内野課長、山屋室長、緑川主査、大島主任</p> <p>市民部交通安全課：田中課長、仲村主査、盛清主査、伊藤主事</p> <p>【事務局】：経営企画部 企画総務課</p> <p>電話 04-2998-9046</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
企画総務課	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議成立の報告 ・条例第 7 条に基づく出席者の報告 ・会長あいさつ ・会議の公開の確認 ・傍聴希望者の確認 傍聴者 8 名 ・配布資料の確認 <p>2 議事</p> <p>以下、尾崎会長が議長となり進行</p> <p>(1) ところバス路線等の見直しについて</p>
議長	<p>前回の会議で、ところバスについて東村山市への乗り入れなど、平成 30 年度に路線やダイヤを見直したい旨の諮問があり、詳細について説明があった。特段、反対意見はなかったが、パブリックコメントの結果等も踏まえ、あらためて、説明をお願いしたい。</p>
交通安全課	<p>資料 1 などをもとに下記の内容を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線等の見直し案の概要 ・パブリックコメントの結果 ・見直し実施までの市民・利用者への周知等も含めたスケジュール
議長	<p>何か意見、質問等はあるか。</p>
委員	<p>平成 29 年 1 月から「こどもと福祉の未来館」へ乗り入れたことに伴い、西路線のバス車両を小型化したが、状況はいかがか。</p>
交通安全課	<p>「こどもと福祉の未来館」へアクセスする道路幅員の関係上、バスを小型化したが、当初は意見を頂いたこともあったが、現在、特段の問題は発生していない。</p>
委員	<p>ところバスの運行経費として、毎年 1 億円以上の運行補償料を要している状況を市民に情報開示し、もっと周知すべきである。市民が</p>

	<p>これだけの経費を要して運行している現実を知れば、運行に関する要望を考え直す可能性もあるのではないか。</p> <p>また、導入から約 20 年、ところバスの運行を 1 つの交通事業者へ委託し続けていることも問題があるのではないか。公平性を欠いていると考える市民もいる。市は少なくとも他の交通事業者の意見も聞くべきである。</p>
交通安全課	<p>市内を運行している路線バス事業者以外でも可能かどうかも含め、今後の課題として検討していきたい。</p>
議長	<p>運行補償料の情報開示と運行事業者の公正な選定方法を模索していくことは必要なことである。</p>
委員	<p>運行事業者の選定については、国土交通省からの通達をもとに、各自治体とも検討していると思うが、運行経費の側面だけではなく収益の拡大可能性や利用者の利便性、環境への配慮、緊急時の対応、そして特に安全性に配慮した検討をお願いしたい。</p>
委員	<p>この会議では、ところバスの路線だけではなく高齢者施策や道路施策なども含めた広い視点で交通全般について議論すべきである。</p>
事務局	<p>今後、ところバスを補完する新しい交通手段について、協議をお願いしたいと考えている。</p>
委員	<p>パブリックコメントの中で、バスロケーションのアプリケーションの導入に関する意見があった。「実証実験を行った結果、費用・運用面に課題がある」との回答だが、具体的にはどのような課題なのか。</p>
交通安全課	<p>実証実験で扱ったアプリケーションについては、他の製品と比較すると費用面や運転手の操作性などの運用面に課題があり、早期の導入は見合わせた。引き続き西武バス株式会社と連携し、研究していきたい。</p>
議長	<p>さまざまな意見等があったが、諮問を受けていた、平成 30 年度にところバス路線等の見直しを行うことについては、異議なしという</p>

	<p>ことよろしいか。</p> <p>【委員全員異議なし】</p>
事務局	後日、正式に答申を頂き、見直しに向けた準備を進めていきたい。
議長	<p>よろしくお願ひしたい。また本日の各委員から出た意見等をしっかり課題として受け止め、今後検討していただきたい。</p> <p>(2) その他</p>
議長	「その他」について事務局から説明をお願いしたい。
事務局	「その他」として 小型車両を活用した新しい交通手段についての紹介、 運転免許自主返納者に対するアンケートの結果についての報告、 所沢駅へのホームドア設置についての情報提供の3点がある。
議長	から順に説明をお願いしたい。
事務局	<p>小型車両を活用した新しい交通手段についての紹介であるが、平成29年1月の「所沢市における地域公共交通の方向性について」の答申での提言を受け、市として小型車両を活用した新しい交通手段の導入に向け、今後具体的な検討を進めたいと考えており、交通会議でも協議いただきたいことから、本日はまず3つの交通手段、具体的には、定時定路線型乗合タクシー、乗合型デマンド交通、既存タクシー活用型デマンド交通について紹介する。なお、どの交通手段が市にとって望ましいかなど具体的な協議は次回以降お願ひしたい。</p> <p>資料 3-1~4 をもとに、定時・定路線型乗合タクシー、乗合型デマンド交通、既存タクシー活用型デマンド交通について説明</p>
議長	何か質問等あるか。
委員	小型車両の運行について具体的な導入計画はあるのか。

事務局	<p>具体的な導入時期は決まっていないが、現状のところバスの課題を踏まえつつ、バス車両の更新時期を目処に、当会議でも協議いただきながら導入に向けた具体的な検討を進めたい。</p>
委員	<p>デマンド交通に関しては課題の多い自治体も見受けられる。また、既存交通への影響についてはどう考えているのか。特に路線バスやところバスの路線網が、ある程度市域を網羅している状況下で、さらにデマンド交通などの導入を検討していくのか。</p>
事務局	<p>他自治体における導入結果や長所、短所が本市にも当てはまるかどうかも含め、慎重な検討が必要であると認識している。</p> <p>また、既存交通への影響については、ところバスとの関係で言えば、例えば、長大化しているところバスの路線をコンパクト化し、運行頻度を上げ増便を実現することで利便性を向上させる一方、運行しなくなった地域等を、小型車両を活用した新しい交通手段で補完するイメージを描いている。</p>
委員	<p>タクシー事業者が乗合タクシーを受託するには、新たに事業認可を受ける必要があり、また、ワンボックス車両の購入やオペレーターの準備等さまざまな環境整備が必要で、一部の事業者しか担えない。紹介のあったさいたま市の事例は、地域住民の熱心な誘致により交通空白地域に乗合タクシーの運行を実現させた事例であり、収支率も40%を達成している。</p> <p>既存タクシー活用型デマンド交通は、市内の全タクシー事業者が対応可能で、自治体の負担は大きいかも知れないが、高齢者の移動手段の確保にも十分貢献できることから、タクシー業界としてはぜひ導入を検討していただきたい。</p>
委員	<p>資料1のパブリックコメントの結果報告に「中長期的な見直し」という表現が多く、具体的な見直し時期が明確ではなく不安であった。今後もきちんと検討を進めてほしい。また公共交通機関だけではなく、道路行政などとも合わせて取り組んでもらいたい。</p>
委員	<p>ワンボックスのタクシーに複数人で乗り合えば、1人あたりの負担は抑えられる。例えばどこの駅にワンボックスのタクシー車両が待機しているかなど、上手にタクシーを活用するための情報も市民に</p>

	<p>提供してほしい。なお、紹介のあった交通手段については、市街地での導入は難しいと思うが、地域によっては十分にニーズがあるのではないか。</p>
議長	<p>タクシーも含め利用者が上手に公共交通手段を利用できるための情報提供を関係者にはお願いしたい。</p>
委員	<p>新しい交通手段の検討・判断材料として、今後メリット、デメリットをまとめた資料を用意してもらいたい。また、市は、バスやタクシーの利用促進策をもっと考えてもらいたい。今後、公共交通施策への財政負担についてはどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>今後、具体的に協議いただくために、資料を用意する。利用促進策については、交通事業者にご協力いただきながら取り組んでいきたい。財政面については、いずれ目安を定めることになると思うが、あまりその点に捉われすぎず、新しい交通手段等について柔軟に検討していきたい。</p>
議長	<p>まずはより良い仕組みを導入できるよう事務局は情報収集していただき、今後会議でも具体的に議論していければと思う。</p>
議長	<p>次に 運転免許自主返納者に対するアンケートの結果について説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料 2 をもとに、運転免許自主返納者に対するアンケートの結果について報告</p>
議長	<p>何か質問等あるか。</p> <p>【特に質問等なし】</p>
議長	<p>今後、詳細な分析を行い、施策に活かしてもらいたい。</p>
議長	<p>次に 所沢駅へのホームドア設置について説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料 4 をもとに、所沢駅へのホームドア設置について説明</p>

議長	所沢駅へのホームドア設置について、市として鉄道事業者や国と三位一体となって取り組んでいくために、所沢市交通バリアフリー基本構想にホームドアの設置を位置づけたいとのことである。何かご意見等あるか。
委員	ぜひ設置に向け進めていただきたい。 他のバリアフリー施策も合わせて進めていくうえで、バリアフリー推進協議会を設置していただきたい。また、障害者の方の利用の多い、新所沢駅へのホームドア設置もぜひお願いしたい。当駅では3件の転落事故が発生しているので、市も鉄道事業者へ積極的に要望してほしい。乗降客数10万人以下の駅でも、例えば障害者の方の利用が多いなどの事情があれば、優先度合いが上がるなどの基準はあるのか。
事務局	バリアフリー推進協議会については、バリアフリー基本構想を策定する際に設置することができるというものであるが、現在のところ、新たなバリアフリー基本構想の策定は考えていない。新所沢駅へのホームドア設置については、乗降客数10万人という要件を満たしていないが、障害者の利用する施設が周辺にあるという状況も踏まえ、今年度から鉄道事業者へ要望しているところである。 なお、乗降客数10万人以下の駅についての基準等については、情報収集していく。
委員	要望はどのように行っているのか。
事務局	埼玉県から県内全鉄道事業者に対して行う鉄道整備要望のなかで、行っている。
委員	市からも直接、鉄道事業者へ要望してほしい。
委員	所沢駅のエレベーター設置場所が悪く、案内表示も不親切で大変使いにくい。高齢者や障害者への配慮の観点から、市からも鉄道事業者へ指摘してほしい。
議長	所沢市交通バリアフリー基本構想にホームドアの設置を位置づけることに、異議はないか。

	<p>【委員全員異議なし】</p>
議長	その他、事務局から何かあるか。
事務局	次回の地域公共交通会議は、5月頃を予定している。
議長	以上で議事を終了する。
企画総務課	以上で、平成 29 年度第 2 回 所沢市地域公共交通会議を終了する。 閉会